

事業評価シート

担当課・室長：環境保全対策課長

事業名	酸性雨問題等の防止に向けた国際協力の推進
上位施策名	酸性雨等に係る対策
1 事業の概要	<p>国際協力の推進により国境を越えた地域的な地球環境問題である酸性雨問題を防止するため、以下の事業を実施。</p> <p>東アジア諸国に対する酸性雨モニタリング戦略/計画策定支援 東アジア酸性雨シミュレーションモデルの開発・検証</p>
2 進捗状況	<p>東アジア諸国に対する酸性雨モニタリング戦略/計画策定支援 東アジア酸性雨モニタリングネットワークを推進するため中国、タイ、インドネシア、フィリピン、ベトナム、モンゴルに対するモニタリング計画策定支援を実施（平成 8 年度～）（各国の実状に応じ、技術研修の実施、サイトの選定支援、国内体制整備の支援等を実施） 技術ミッションの派遣（平成 12 年度は 5 回、のべ 8 カ国）</p> <p>東アジア酸性雨シミュレーションモデルの開発・検証 東アジアにおける酸性雨原因物質の移動・拡散・反応・沈着モデルの開発、我が国大芝高原やタイ等、東アジア地域における乾性沈着速度の実測調査等を実施。</p>
3 評価	<p>東アジア諸国に対する酸性雨モニタリング戦略/計画策定支援により、EANET 参加国における技術的能力の向上が図られ、全ての支援国において酸性雨モニタリング計画が策定され、また、モニタリングデータの精度が向上する等の効果が得られた。 （模擬雨水を用いた分析結果比較調査において、必要な分析レベルを満たしていたデータの割合が、78 %（1998 年）から 92 %（1999 年）に向上。（{高濃度試料での調査結果}）</p> <p>今後は、東アジア酸性雨モニタリングネットワーク（EANET）の進捗状況、各国の実情を考慮し、JICA の協力を得つつ効率的に必要な支援を実施することが必要。</p> <p>東アジア地域全体として酸性雨原因物質の排出量が増大することが懸念されていることから、日本を含む東アジア地域全体を視野に入れた酸性雨の影響調査、酸性雨対策を推進するための調査研究を継続強化することが必要。今後の東アジア地域における酸性雨原因物質の削減対策を検討するにあたり、東アジア全域を対象とした酸性雨シミュレーションモデルの開発・検証は不可欠。</p> <p>酸性雨に関する調査研究は、これまで国内対策の一環として行ってきたが、今後は、東アジア地域における対策の推進という観点から、東アジア地域に適した手法の検討（例：沈着量マップに関する調査、東アジア地域に適した生態影響評価手法調査等）を実施することが必要。</p> <p>このような支援は、外務省、JICA 等関係主体と緊密な連携を図りつつ実施する方針。</p>

4 予算事項	<ul style="list-style-type: none">・ 酸性雨対策国際協力事業費・ 東アジア酸性雨対策調査研究費・ 東アジア酸性雨シミュレーションモデル開発・検証事業費・ 黄砂エアロゾル調査研究費・ 東アジア酸性雨モニタリングネットワーク推進経費
5 対応副施策	